

J H F 理事会議事録

日 時： 2025年5月15日(金) 13:00～16:00

場 所： J H F 事務局会議室(北区中里1-1-1-301) /ZOOM 会議

1. 議長・議事録作成人指名

議長： 安田英二郎 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 芦川雄一郎 濱田 革 安田英二郎

オンライン (ZOOM) 竹村治雄 橋田明夫 山口隆文

【監事】 オンライン (ZOOM) 岩村浩秀

(出席理事6名 今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 理事・監事の一言

芦川副会長：3月の板敷山スプリングフライトに顔を出した。GWに事故が続いたので注意が必要。

竹村理事：5月18日J A A航空スポーツ教室が東京・三田図書館で開催されパラグライダーVRで協力をする。事務局と東京都連中瀬さんの協力に対応する。

事故が続いているので安全性委員会で事故報告について検討している。

橋田理事：J H F 補助動力委員会のページにモーターパラグライダーフライト安全ガイド動画をアップした。

濱田理事：4月にハンググライディング日本選手権があったが、飛べたのが1日でクラス1は不成立、クラス5は成立した。理事会後に改めて報告する。

4. 審議事項

第4-1号議案 2024年度事業報告について

安田会長より、2024年度事業報告について説明があった。

2024年度事業報告、委員会報告は一部文言の修正等をして総会にて正会員へ報告し、内閣府へ提出する。

出席理事全員（議長を除く5名）の賛成で承認

第4-2号議案 2024年度決算について

芦川副会長より、2024年度決算にて説明があった。

濱田理事：会員収入が減っている理由を総会で説明出来るように明確にしておきたい。

2024年度決算は総会にて正会員へ報告、一部議決し、内閣府へ提出する。

出席理事全員（議長を除く5名）の賛成で承認

第4-3号議案 2025年度通常総会議事・議題について

議長（安田会長）：総会では通常の決議事項に加えて、4月1日施行の「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（認定法）」の改正に伴い外部理事・外部監事を選任することが義務付けられた。今回の総会では定款の改正、役員選任規約の改正が必要になる。制度委員会からの定款改正案を確認し、議事・議題について議決する。

2025年度総会次第が決定した。定款による目的事項送付期限である通常総会（6月17日）の4週間前（5月20日）に事務局から正会員宛にメールにて送付する。

出席理事全員（議長を除く5名）の賛成で承認

第4-4号議案 各料金の値上げについて

山口理事：会員向け賠償責任保険、電気料金、郵便料金、印刷費、消耗品等の値上げがあり、システム改定による事務効率化等も予定はいしているが、各料金の値上げ案を作成したので検討したい。

議長（安田会長）：値上げに反対の方はいないのでそれぞれ検討する。まずは申請料金について。

竹村理事：IPPIカードはFAIからカードを購入してJHFが発行している。レベルが上がるとまた申請が必要になるので書き換え申請料は救済したらどうか。

濱田理事：事務局の手間は変わらないので他の値上げに合わせてよい。

議長（安田会長）：技能証申請料金は更新がある申請料（上級タンデム、教員助教員、リパック認定証等）も含め1,000円一律値上げとする。

出席理事全員（議長を除く5名）の賛成で承認

山口理事：教本についてはJHFから購入、スクール購入でも値段が同じであるので、登録スクールに限り5冊以上販売価格を設定したい。

議長（安田会長）：パラグライディング、ハンググライディング教本について、JHF価格は4,400円で登録スクールに限り5冊以上3,080円/冊とする。

パラグライディング教本DVDは、1,500円⇒1,650円

補助動力副読本は、1,000円⇒1,100円

賛成 4名（芦川、橋田、濱田、山口）

棄権 1名（竹村）…値上げをしても収支はマイナス。重要な問題で検討時期が必要。

議長（安田会長）：検定料、受講料について

山口理事：検定員への日当支払い額は検定料を値上げしても変わらない。

濱田理事：検定会開催は検定料だけで賄えている訳ではないのであれば、値上げしてもよいのでは？

山口理事：現在上級タンデムは赤字ではなく、教員検定の学科は赤字になっている。

濱田理事：上級タンデム、教員検定の収支を試算するまで保留とするか。教員を増やすには持ち出しが出てもよいと考えている。

議長（安田会長）：検定料については、値上げする根拠もなくとりあえずは議決せずに据え置きましょう。次に備品貸出について。

山口理事：AEDは使った時はお金がかかる。1,000円でもプールして使った時に使うことでよいと考える。

議長（安田会長）：では**AED貸出料は無料から1,000円**を取りましょう。

山口理事：リパックタグは、1シート5枚で販売しているが、送料手間等も考えて**5シートワンセット1,000円**で販売とする。

各値上げは事務局対応可能な10月1日からとして告知、準備していく。

出席理事全員（議長を除く5名）の賛成で承認

第4-5号議案 第19回パラグライディング世界選手権日本代表チーム承認について

濱田理事：8月30日～9月13日にブラジルで開催される第19回パラグライディング世界選手権の日本代表チームをPG競技委員会が選考した。

議長（安田会長）：PG競技委員会から申請の日本代表チームについて議決する。

小林大晃、岩崎拓夫、多賀純一、平木啓子、*隅秀敏
チームリーダー 長島信一

*最初の国別選手割り当てで、割り当てられた選手総数が、大会の最大選手数（130名）に満たなかった場合に、大会の最大選手数になるまで追加の選手を国別ランキング順に選考することになる。それにより参加することが可能になった際は個人の資格（チームメンバーではなく）で参加することになる。

出席理事全員（議長を除く5名）の賛成で承認

5. 協議事項

5-1 世界選手権派遣補助金規定について

山口理事：世界選手権は競技種目も支出も増え負担が大きくなっている。規定を作り適切に実施したい。他スポーツ団体は、結果が出ない場合は補助金が出ない等もある。

濱田理事：支出についての規定がないので定めたい。

竹村理事：競技については選手育成の方策も必要だと思う。もう少し理事会で協議して競技委員会にも意見を聞いたらどうか。補助を受けた選手はJHF事業、宣伝等にも協力をしてもらう。

濱田理事：日本選手権補助金も含めて、何が対象になるかを決める必要がある。競技委員会担当理事として検討するので、継続協議とする。

5-2 技能証移行に関する規程の解釈と運用について

竹村理事：技能証規程に「国内外で同等の技能証を取得したものは理事会の承認が有れば申請が出来る」とある。国内他団体技能証をJHF技能証へ移行措置から始まったものであるが、運用については細則がなく、海外技能証等の問い合わせも多いためルール作りが必要ではないか。JHF会員登録は日本で飛ばないと登録出来ないというルールはない。アメリカの団体登録は日本に住んでいても会員登録可能である。JHFのルールでは教員がフライトログ、実技を見て移行が出来てしまう。オーストラリアのNAC年会費は5万円、JHFは7千円なので、ハードルを高くする等対策を考えたい。

山口理事：移行措置をしている国は少なく、フランス等はない。教員が実技を見て申請して理事会承認ですぐ発行するのはどうか。移行承認自体がよくない。

濱田理事：技能証規定にある「国内外で同等の技能証…」の「外」を抜いたらどうか。

議長（安田会長）：外国資格は移行しない。

竹村理事：他団体の技能証を移行する場合も、JHFのA証から再度順番に申請するとしても、必ずJHFの教員が関与すべきではあるが、技能証規程の移行措置に関しては教員の記載が無い。

橋田理事：国内他団体からの移行申請もA証から申請してもらえばよい。

竹村理事：本来はパラグライダーの統括団体はJHFなのでJHFに加入して欲しい。

山口理事：他団体ライセンスを利用すればよく、逆に私たちが海外に行った時はそうしている。

竹村理事：国外の技能証については、JHFのフライヤー登録と技能証（IPPIカード）をもってフライトすればよいので、技能証規程のこの部分の変更を理事会から制度委員会に諮問できるように調整する。

6. 報告事項

6-1 青森県連国体デモスポについて

芦川副会長：青森県連より2026年7月に開催される国体デモスポの助成金申請があった。2026年度予算の際に反映したい。

6-2 技能証発行件数

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。（出席理事）

理事

芦川雄一郎 印

竹村治雄 印

橋田明夫 印

濱田 革 印

安田英二郎 印

山口隆文 印

監事

岩村 浩秀 印

議事録作成人：桜井加代子